

お 知 ら せ

国立天文台教官公募

昭和 63 年 7 月 1 日

7 月 1 日より国立大学共同利用機関として発足する国立天文台では、以下のように教官を公募します。

公募人員: (I) 助教授 2 名

(II) 助 手 若干名

専門分野: 下記参照のこと。

着任時期: 決定後なるべく早い時期

応募資格: 大学院修士課程修了, 又はそれと同等以上の者

提出書類: (1) 希望する専門分野と職種, (2) 略歴, (3) 研究歴, (4) 論文リスト及び主要論文別刷り, (5) (自薦の場合) 研究計画書及び本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) (他薦の場合) 推薦書

公募締切: 昭和 63 年 8 月 31 日必着

宛 先: 〒181 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 台長

TEL 0422-32-5111 (代表)

そ の 他: * 封筒の表に「人事公募 (又は推薦) 書類」在中と朱記し, 専門分野と職種を明記して下さい。複数分野へ応募する場合は別々に書類をお送り下さい。

* 各分野における公募についての具体的問い合わせは, 以下それぞれにあげた担当者におねがいます。

* 選考は, 国立天文台運営協議員会議において行います。応募者に適任者がいない場合には, 決定を保留することがあります。

専門分野と問い合わせ先は, 以下の通りです。

理論天文学: (I) 助教授 1 名, (II) 助手 1 名

三鷹地区の理論天文学研究系に属し, 天体現象の理論的研究に従事する。研究分野は特定しないが, 幅広い興味を持ち共同利用に積極的な役割を果たす人を希望する。

問い合わせ先: 池内 了 (内線 340)

電波天文学: (I) 助教授 1 名

野辺山宇宙電波観測所において, 宇宙電波分光學, 特に星間分子にかかわる研究を担当する。また開発研究や共同利用にかかわる事業の遂行にも積極的な役割を果たす人を希望する。

(II) 助手 2 名

野辺山宇宙電波観測所または太陽電波観測所において, 電波天文学の研究・観測・開発を担当する。野辺山においては, 45m 鏡・5 素子干渉計・太陽電波干渉計等の観測装置及び電波ヘリオグラフ計画があり, 共同利用も含めこれらを積極的に担う人を希望する。

問い合わせ先: 海部宣男

(野辺山宇宙電波観測所)

TEL 0267-98-2831 内線 63

光学赤外線天文学: (II) 助手 1 名

光学赤外域での観測・機器開発・実験的研究に意欲的に取り組み, 望遠鏡等の共同利用運用に積極的な役割を果たす人を希望する。当面, 岡山天体物理観測所の勤務の可能性もある。

問い合わせ先: 小平桂一 (内線 209)

宇宙計量学: (II) 助手 1 名

時間・空間の計測を通して宇宙を研究する宇宙計量学に関する実験的研究に従事する。当面は, 例えばレーザー干渉計等の重力波検出への応用に関する基礎的実験を行う。経験は問わないが, 幅広い宇宙への好奇心と柔軟な実験物理の知識を有する人を希望する。

問い合わせ先: 藤本真克 (内線 222)

天体力学: (II) 助手 1 名

天体力学の研究に従事する。

問い合わせ先: 木下 宙 (内線 234)

太陽物理学: (II) 助手 1 名

太陽の観測的研究に従事する。

問い合わせ先: 日江井榮二郎 (内線 320)

観測天文学: (II) 助手 1 名

先端的な観測天文学において, 分野にとらわれず将来性ある研究に意欲的に取り組み, 国立天文台の大型装置計画や大型装置の共同利用に積極的な役割を果たす人を希望する。

問い合わせ先: 小平桂一 (内線 209)

宇宙科学研究所教官公募

公募人員: (I) 助教授 1名

(II) 助手 1名

所属部門: 宇宙圏研究系: 高エネルギー天体物理学第2部門

専門分野: 飛翔体を用いた, 高エネルギー放射線 (X線ガンマ線等) の観測による天体物理学の研究, 及び測定技術の開発.

同研究系には, 現在, 高エネルギー天体物理学第1, 第2, 第3各部門及び赤外線天体物理学部門があります.

(I) 高エネルギー天体物理学第1, 第3部門と緊密に協力しつつ研究を主導すると共に, 大学共同利用機関としての本研究所の任務を充分理解し, 当該分野の科学衛星計画その他共同利用プログラムを担当して, その遂行に責任ある役割を果す方を希望します.

(II) 高エネルギー天体物理学第1, 第3部門と緊密に協力しつつ研究を行うと共に, 大学共同利用機関としての本研究所の任務を充分理解し, 当該分野の科学衛星計画その他共同利用プログラムの遂行に積極的な役割を果す方を希望します.

尚, 当該部門の教授には田中靖郎が在籍しています.

着任時期: 決定後, 昭和63年度内のなるべく早い着任を希望

提出書類: (1) 略歴 (2) 研究歴 (3) 論文リスト及び主要論文別刷 (4) 研究計画書 (自薦の場合のみ) (5) 他薦の場合: 推薦書 2通. 自薦の場合: 本人について意見を述べられる人 2名の氏名, 連絡先.

公募締切: 昭和63年8月15日(月) 必着

宛 先: 〒229 神奈川県相模原市由野台 3-1-1

宇宙科学研究所 所長 西村 純

相模原キャンパス

電話 0427-51-3911 (代表)

問い合わせ, 及び資料の請求は下記に願います.

宇宙圏研究系主幹 田中靖郎 内線 2615

その他: 選考は, 宇宙科学研究所運営協議員会議に於て行います. 応募者に適任がない場合, 決定を保留することがあります. 封筒の表にそれぞれ (I) 「助教授応募 (推薦) 書類在中」, 又は (II) 「助手応募 (推薦) 書類在中」と朱で明記して下さい.

東京大学理学部・天文学教育研究センター助手公募

東京大学理学部に天文学教育研究センターが新設されることになりました (昭和63年7月1日東京大学三鷹キャンパスに発足). これは東京天文台の改組にともなって発足するもので, 天文学の観測的な研究と教育を目的としています.

本センター (昭和63年7月1日発足) では下記の要領で助手の公募をおこないます.

公募人員: 助手1名 (東京大学理学部三鷹キャンパス勤務)

研究分野: 電波天文学および関連する研究分野

提出書類: 履歴書, 論文リスト, 代表的な論文の別刷 (封筒に「センター助手応募」と朱書のこと)

公募締切: 昭和63年8月20日

(ただし適任者がいない場合は採用を保留することがあります.)

宛先および問い合わせ先:

〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

東京大学理学部

天文学教育研究センター長 (予定) 内田 豊

(TEL. 0422-32-5111) (代表)

立教大学理学部教官公募結果

天文月報第81巻2月号(1988)に公告しました当研究室の教員公募については, 過日柴崎徳明氏 (NASA Space Science Lab., USA) を招くことに決まりましたので, この旨ご報告致します.

立教大学理学部理論物理学研究室

沢 村 一

都立大理学部教官公募結果

天文月報第81巻3月号(1988)に公告しました当研究室の助教授公募について, 下記のとおり決定しましたのでご報告します.

氏 名: 高原文郎

以前の所属: 東京大学東京天文台

着任時期: 1988年7月1日

東京都立大学理学部物理学教室主任

久 保 謙 一

☆ ☆

☆ ☆ ☆